

厳しい社会情勢の中、

健全な財政を維持

令和4年度 会計別決算状況

会計別	収入額	支出額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
一般会計	83億7647万円	76億8999万円	3億1744万円	3億6904万円
特別会計	国民健康保険事業	13億3765万円	11億5866万円	1億7899万円
	下水道事業	6億5120万円	6億3597万円	54万円
	介護保険事業	13億4844万円	13億3016万円	1828万円
	後期高齢者医療	1億9076万円	1億8854万円	222万円
	小計	35億2805万円	33億1333万円	2億1418万円
合計	119億452万円	110億332万円	3億1798万円	5億8322万円

* 万円未満は四捨五入、合計値や実質収支額は一致しない場合があります。

決算内容を問いただす…決算審査特別委員会

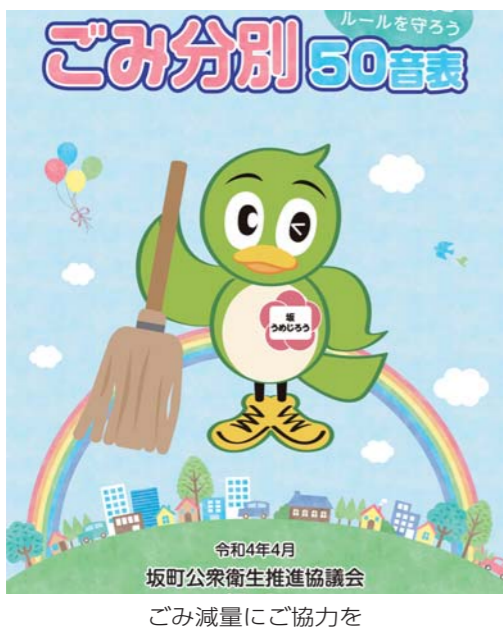
企画財政課長
2、3月に申請があった場合を想定し予算化しており、毎年不用額が出ています。

企画財政課主任
引越支援は町外9件、町内6件の計15件。同居・近居は町外9件、町内3件の12件である。

議員
子育て支援事業補助金の実績件数と不用額が多い理由は。

総務課係長
過去最大だが、1件大口寄付があったこと、ふるさと納税サイトに登録したことにより増えた。

議員
ふるさと納税が増えているが。



環境防災課係長
地元対策費が増えているためである。

議員
ごみの量は減っているが、安芸地区衛生施設管理組合の補助金は増えている。

環境防災課係長
年間のごみ量が減っているためである。

議員
ごみ収集業務委託料の不用額が多いが。

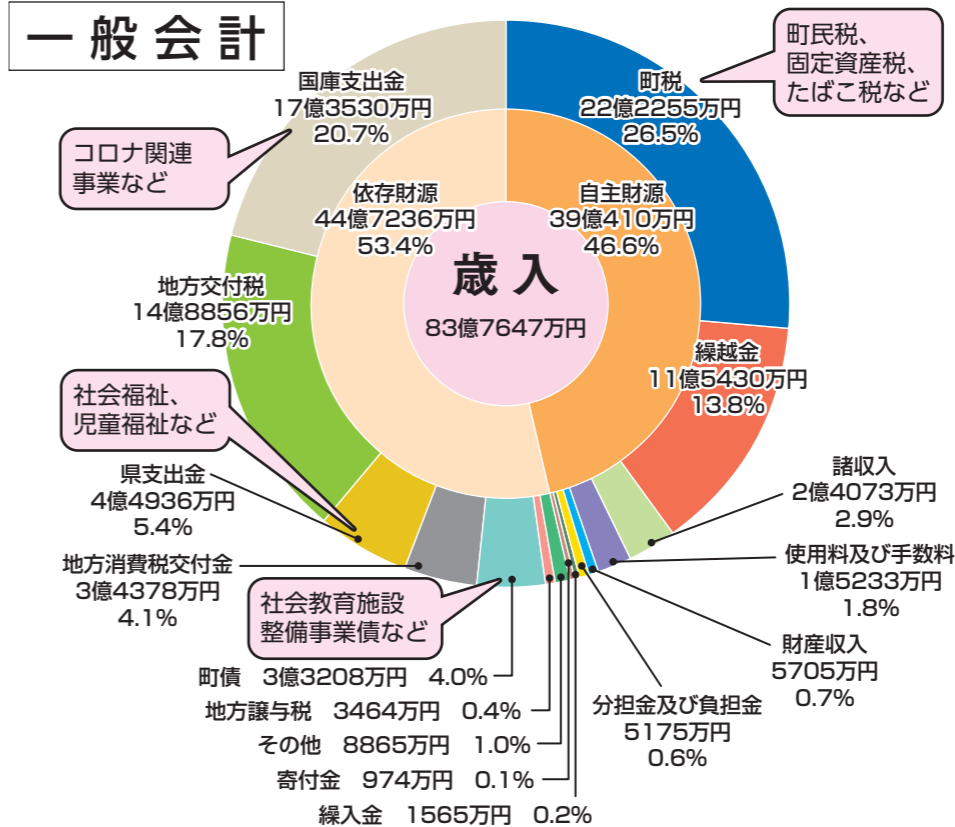
保険健康課係長
令和4年4月から不妊治療が保険適用となり、自己負担が減ったため。件数は令和3年度が26件で4年度は6件。

ふるさと納税増は

不妊治療費補助金は

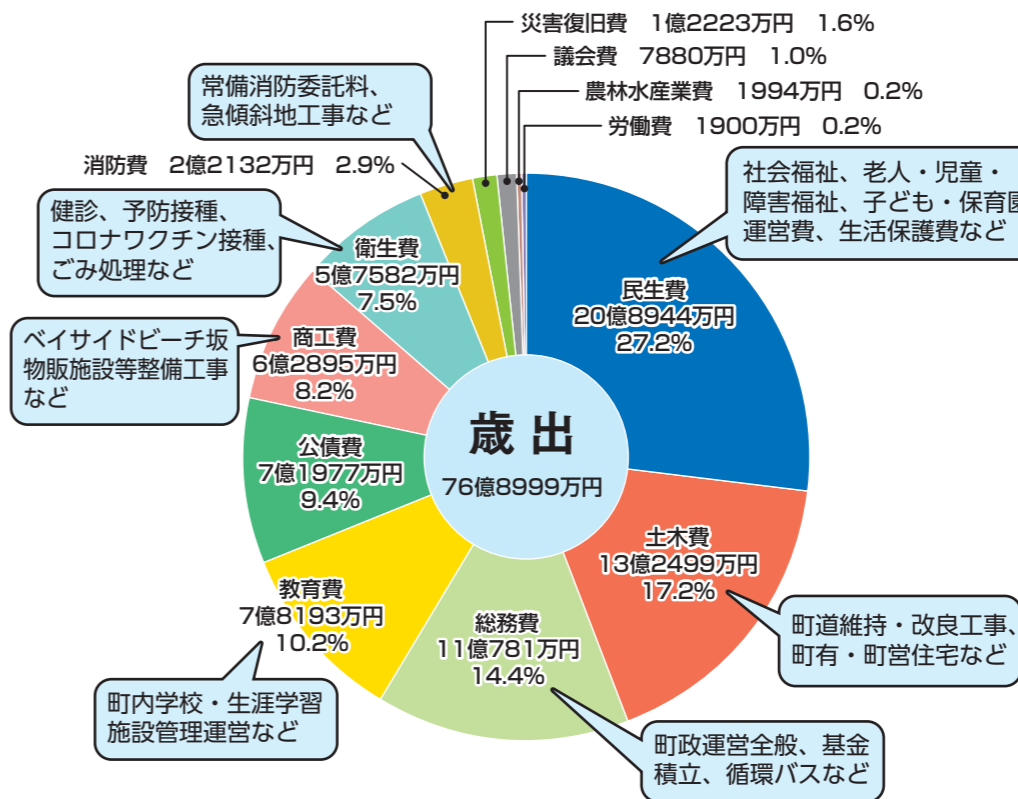
ごみ問題は

一般会計



令和5年9月定例会
令和4年度決算を認定

9月定例会は、9月4日から11日まで開かれ、報告1件、条例改正2件、令和5年度一般会計と4特別会計の補正予算、人権擁護委員の候補者の推薦、条例制定1件について審議し、いずれも原案どおり可決した。また、令和4年度一般会計・4特別会計の決算は、6日・8日の特別委員会でも集中審議し、全ての決算を認定した。



※表示単位未満を四捨五入しているため、項目ごとの数値の計と合計は一致しない場合があります。